

人権学習展開例

主 題 名 就職差別

教 材 名 私のここを見てください

人権学習の視点 個別的な視点「さまざまな人権問題」

主題・教材について

就職の機会均等が保障されるためには、公正な採用選考が行われることが極めて重要である。そこで、同和問題にかかわる過去の就職差別とその解決への取組を学ぶことを通じて、適性や能力以外の質問が人権を侵害することに気付き、そのような不適切な質問に答えないという毅然とした態度を身に付けさせることで、様々な人権問題の解決に向けた実践的な態度を身に付けさせたい。

ね ら い

社用紙から「近畿高等学校統一応募用紙」への変遷についての学習や面接ロールプレイを通して、就職差別につながる質問に対する適切な対応の仕方を理解するとともに、人権を大切にする生き方や社会の在り方についての考えを深める。

本時の展開

(1/2時間目)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具	
導 入	○就職が身近な問題であることを確認させる。	一斉		○進学する生徒にとっても、数年後には就職に向き合うことになることを確認する。	ワークシート1	
	○会社に就職する際、自分のどのような点を評価してほしいか考えさせる。	個別	○ワークシートに記入する。	○自分自身の仕事に対する情熱や努力について考えさせることで、後に適性や能力と関係のない項目が出てきた時の気付きにつなげる。		
展 開	○適性と能力について、理解させる。	一斉	○採用選考にあたっての基本的な考え方を読む。	○思想信条や家族状況は、応募者の適性と能力にかかわりのないことに気付かせる。	生徒資料 「採用選考にあたっての基本的な考え方」	
	「社用紙」を見てみよう					
	○社用紙の中で、就職選考において何が不必要な項目か理解させる。	個別	○不必要な項目を抜き出す。	○応募者の適性と能力にかかわりのない具体的な例に気付く。	生徒資料 「応募書類について考えよう」	
	○なぜ不必要であるのか、グループで理由を考えさせる。	グループ	○グループごとに発表し、意見交流する。	○様々な考え方を認め合いながら、意見交流させる。 ○適性や能力以外の項目が多くあることに気付かせる。	ワークシート1	
社用紙から統一応募用紙へ						
	○社用紙と統一応募用紙の比較をさせる。	一斉	○統一応募用紙を見て、ワークシートに記入する。	○どのように改善されたかを考えさせる。	生徒資料 「統一応募用紙」 ワークシート1	
ま と め	○就職差別解消に向けて、どのような取組が行われてきたかを理解させ、本時のまとめをおこなう。	一斉	○「就職差別問題に対する取組」を読む。	○取組が広がったことや多くの人が努力することで改善してきたことに気付かせる。	生徒資料 「就職差別問題に対する取組」	

本時の展開

(2/2時間目)

過程	指導内容	形態	主な学習活動	指導上の留意点	教材・教具
導入	○応募書類によって差別されることはなくなったが、面接では不適切な質問がされる例が少数ながらあることを指摘する。	一斉		○企業側の認識不足が原因の場合もある。 ○不適切な質問に気付かせる。 ○不適切な質問に答えていれば、いつまでたっても企業の選考の姿勢が変わらないことに気付かせる。	
展開	面接ロールプレイを見よう				
	○面接ロールプレイを見て、不適切な質問がないか考えさせる。	個別	○不適切な質問をワークシートに書き出す。	○実際にロールプレイを行う。 ○なぜ不適切か、理由も考えさせておく。	生徒資料 「面接ロールプレイ台本」 ワークシート20
	○グループで相談させる。	グループ	○不適切な質問について交流する。	○なぜ不適切か、理由も考えさせ、必要に応じて発表させる。	
展開	○面接にどのような態度で臨みたいか、考えさせる。 ○不適切な質問を受けた時、どうすればよいか、考えさせる。	一斉	○ワークシートに記入する。 ○「学校の指導によりお答えできません」と答える。事後、学校に連絡する。	○まず、就職面接は自分の適性や能力をアピールする場であることを理解させる。 ○その上で、不適切な質問があった場合、それに気が付くことが重要であること、そして毅然とした態度で答えることや、後で学校から働きかけてもらうことが、企業側の意識を変えるきっかけになることを理解させる。	ワークシート20
	大学や専門学校から就職する時				
まとめ	○大学や専門学校を卒業し、就職する時の対応について考えさせる。	個人	○どのような行動を取れば良いか、考えさせる。	○「その質問は適性や能力に関係ないので、できれば答えたくないのですが、どうしても答えなくては行けませんか」等、その場で自分の思いを伝えたり、事後学校に報告し、学校からもはたらきかけてもらえるように行動したりする態度を身に付けさせたい。 ○必要に応じて、大学等や企業での取組に触れ、人権問題の解決に向けてさらに努力が続けられていることを理解させる。	ワークシート20 生徒資料
	○2時間のまとめをおこなう。			○就職時に限らず「おかしい」と思った時にその場で毅然と「おかしい」という態度が取れるか、また一人では無理でも仲間を増やして行動していくことが、人権問題の解決につながることを理解させたい。	

評価

「近畿高等学校統一応募用紙」制定の趣旨を理解し、就職差別につながる質問に対する適切な対応の仕方を理解し、基本的人権を大切にする生き方や社会の在り方について考えを深めることができたか。

私のことを見てください！公正な採用選考がされる社会をめざして！